

日本規格協会規格（JSA 規格）

「JSA-S1026 低圧損型架橋ポリエチレン管継手の相当管長測定方法」 を開発・発行

2025年3月5日
一般財団法人 日本規格協会

日本規格協会は、JSA-S1026『低圧損型架橋ポリエチレン管継手の相当管長測定方法』を2025年3月5日に発行いたしました。このJSA規格は、株式会社オンダ製作所が主体となって開発したもので、低圧損型架橋ポリエチレン管継手を用いた配管において、流量計算を行う場合に使用される継手の“相当管長”の測定方法について定めています。このJSA規格の発行によって、製造者と設計施工業者（使用者）とが共有できる相当管長の測定方法が明確になり、配管設計の共通化・省力化に資することが期待されます。

JSA 規格とは

JSA 規格は、一般財団法人日本規格協会（本部：東京都港区、理事長：朝日弘）が発行する民間規格です。2017年6月の制度創設以来、標準化の専門機関である日本規格協会が、様々なステークホルダー（企業、団体、政府機関、学会など）からの多様な規格開発のニーズの相談・提案を受け、提案者の自主的な規格開発の取組みに対し、効率的なプロジェクトマネジメント支援を提供し、透明性・公平性及び客観性を確保したJSA規格を迅速に開発しています。

このたび発行した、低圧損型架橋ポリエチレン管継手の相当管長測定方法（JSA-S1026）について

本JSA規格では、低圧損型架橋ポリエチレン管継手を用いた配管において、流量計算を行う場合に使用される継手の“相当管長”の測定方法について定めています。

※相当管長とは、継手の流路抵抗が、直管の摩擦損失に換算して何メートル分に相当するかを示す値。

【主な規定事項】

- ・用語及び定義
- ・原理
- ・試験方法（試験配管、測定器具、試験条件、差圧測定、相当管長算出）
- ・記録

JSA-S1026:2025『低圧損型架橋ポリエチレン管継手の相当管長測定方法』

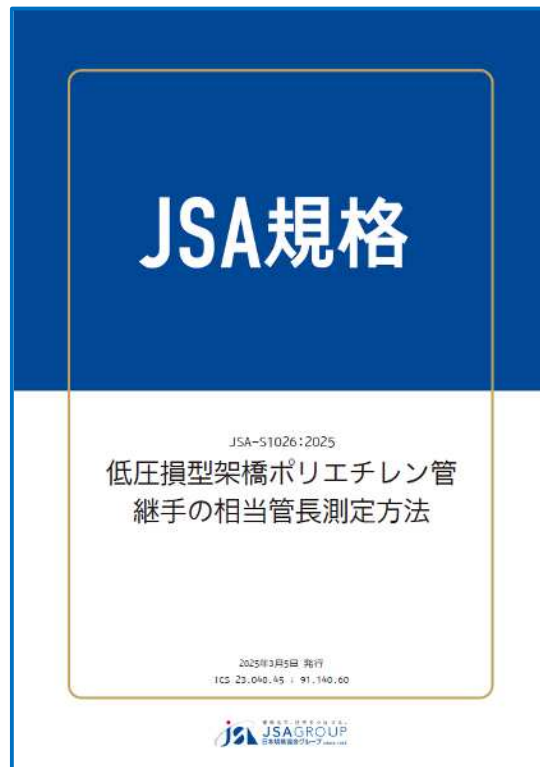
(Measurement method for equivalent length of low pressure loss cross-linked polyethylene pipe fittings) は、日本規格協会のウェブサイトからご購入いただけます。

JSA 規格の詳細はこちら↓

<https://webdesk.jsa.or.jp/common/W10K0500/index/dev/jsas/>

JSA-S1026 のご購入はこちら↓

https://webdesk.jsa.or.jp/books/W11M0090/index/?bunsyo_id=JSA-S1026%3A2025



お問合せ：一般財団法人日本規格協会 JSA 規格事務局（E-mail：jsastandard@jsa.or.jp）